



県政報告 県政を身近に

平成30年
2018
夏季号

Vol.28

埼玉県議会議員

武内まさふみ

【発行】
埼玉県議会 自由民主党議員団

〈ご挨拶〉

平成30年6月定例県議会が7月6日に終了しました。今回の県議会では、補正予算議案はなく、彩の国功労賞の贈呈について議会に諮る初めての議案が提案され、承認されました。私は、本議会で一般質問をする機会を得ましたので、本号でその内容を紹介させていただきます。

私は、本年度は2期目仕上げの年として、政策づくりと地域が輝く県づくりに一層努力を傾注してまいります。皆様のご意見、要望をお寄せください。

質問項目

- 1 県立高校の改革について
 - (1) 県立高校の再編整備について
 - (2) 県立高校の通学区域制の復活について
- 2 八高線にSLを走らせよう
～沿線地域の観光エリア指定について～
- 3 少子化対策について
 - (1) 県民の希望を実現するために
 - (2) 効果的な住宅補助について
- 4 所有者不明の土地問題について
- 5 県の「内部統制」の取組について
- 6 旧毛呂山高校跡地の活用について
- 7 新川越越生線の整備について
- 8 観光地へのアクセス道路の安全対策について

*すべての質問・答弁の内容は、県議会ホームページ「平成30年6月定例会」→「一般質問 質疑質問 答弁全文」をご覧ください。

3 少子化対策について

(1) 県民の希望を実現するために

【武内】子育て支援事業が、どの程度少子化の歯止めにも効果があると把握しているのか。また、子育て支援中心から結婚、出産の支援に政策の力点を移すべきでは。

【福祉部長】今年度は日本社会事業大学などと連携して、人口動態や就業、住宅などの社会環境要因が出生動向に及ぼす影響や、これまでの少子化対策の効果を分析したい。また、出産支援として、平成29年度から「ウェルカムベイビープロジェクト」を立ち上げ、総合的な支援を進めている。結婚支援については、平成30年度に出会いサポートセンター事業を立ち上げる。

6 旧毛呂山高校跡地の活用について

【武内】すでに廃止されてから10年以上が経過している旧毛呂山高校跡地については、売

平成30年6月定例県議会 (平成30年6月18日～7月6日)

武内県議 一般質問に登壇

県立高校の再編整備をはじめ、八高線の観光エリア指定などの地元課題や少子化対策など幅広い分野の質問を行いました。毛呂山町、鳩山町、越生町から多くの傍聴者が参加しました。



主な質問と答弁

1 県立高校の改革について

(1) 県立高校の再編整備について

【武内】単に入学志願倍率が低いことなどを減らすだけでなく、場所的なバランスを考量するとともに、地域政策の観点から知事部局の意見を取り入れて検討する必要があると思うが、教育局の考えは。

【教育長】高校の現状や地域バランスにも十分配慮して検討していきたい。また、広域的な地域振興を担当する知事部局とも意見交換を行った上で、平成31年度をめどに県民コメントを実施し「実施方針」を策定したい。

2 八高線にSLを走らせよう

【武内】八高線沿線を本県の新たな観光エリアに県が指定し、様々な支援をすることについて県の考えは。

【産業労働部長】八高線沿線は、自然や観光資源に恵まれており、特に平成31年3月にムーミンのテーマパーク「メッツア」がオープンし、千載一遇のチャンスである。13の沿線自治体をまとめるためには県の役割が重要。まずは沿線自治体との意見交換の場を設け、機運を盛り上げたい。そのうえで、課題の把握と必要な支援を検討したい。

却の方向で検討していると伺っているが、その方針と今後のスケジュールは。

【教育長】県では、町の利活用が見込めない未利用財産として、地元と調整して売却条件の検討を進め、条件が整った段階で売却を行う。できる限り早期に地元の理解を得られるよう努力したい。



旧毛呂山高校跡地の現況(平成30年7月13日撮影)



▲質問中の武内県議



▲転車台上のSL大樹(鬼怒川温泉駅にて)

8 観光地へのアクセス道路の安全対策について

【武内】県立黒山自然公園内の黒山三滝入り口手前の県道が、車のすれ違いのできない危険箇所がある。県の考えと今後の見通しは。

【県土整備部長】安全で円滑な交通を確保するため、未改良区間の整備が必要である。まずは、どのような線形の整備ができるのか検討し、町と共に事業実施に向けた調整を進める。



県道越生長沢線のあい路部分

●旅館業法施行条例の一部改正

東京オリンピック・パラリンピックに向けて訪日外国人の宿泊しやすい環境をつくとともに、旅館業法など国の法令が今日の多様な宿泊要求にそぐわなくなったことから、国が法律を改正しました。それに従い、県の条例も今回改正しました。具体的には、例えば、清掃の頻度を「毎日」としていたものを「定期的に清掃」と変更するなどの規制緩和や、対面を原則とする玄関帳場の基準をなくし、ICT等による代替を可とするなど新たな基準を設けました。



▲ロボットによる接客サービス



▲需要が期待されるグランピングの例

●県税条例等の一部改正条例ほか

県たばこ税の税額が段階的に上がります。

【現在】1,000本あたりの税額：860円

【改正】

平成30年10月1日～	930円	+70円
平成32年10月1日～	1,000円	+70円
平成33年10月1日～	1,070円	+70円

★条例策定に向けた自民党検討チーム

●青少年の自撮りなどを規制する「青少年健全育成条例」の改正案は、検察の審査に時間を要したため、今議会では提案しませんでした。9月定例議会に提案できるよう準備を進めます。

●現在、「特殊詐欺の撲滅」の条例策定に向けて、自民党内で検討中です。また、「喫煙対策」の条例策定に向けた検討チームを立ち上げました。いずれの検討チームにも、武内県議はメンバーに加わっています。

●武内まさふみの活動日誌

■議会運営委員会

●国立京都国際会館

日本初の国際会議場として昭和41年にオープンし、これまで地球温暖化止京都会議(COP3)など数々の国際会議が行われています。埼玉県においても、国際的な会議や企業イベントなどの誘致が課題になっています。

(5月10日)



▲京都国際会議場

●京都トレーニングセンター

中高生を中心としたジュニア・アスリートの育成拠点とすることを目的に、平成28年に整備しました。ウエイトトレーニングルームをはじめ、動作分析室のような科学トレーニングの機能も備えています。(5月10日)



▲トレーニングマシンを試す武内県議

■ワールドカップラグビー推進議員連盟

●熊谷ラグビー場

いよいよ日本でのワールドカップラグビー大会の開催が来年9月、10月に迫り、国内12会場の一つである熊谷ラグビー場の改修工事が急ピッチで進められています。今年8月にはスタンドが完成し、設備関係の整備も含め平成31年3月までに完成します。(5月14日)



▲急ピッチで改修が進む熊谷ラグビー場

■企画財政委員会

(6月4日～6日 鹿児島県)

●鹿児島市維新ふるさと館

明治維新における鹿児島の歴史などの資料を展示する歴史観光施設として、平成6年にオープンしました。今年度は、NHK大河ドラマ「西郷どん」の放送の影響により入場客数が増加しているとのことです。



▲鹿児島市維新ふるさと館の内部展示

視察

●内之浦宇宙空間観測所

宇宙航空研究開発機構(JAXA)が昭和37年に設置した観測所で、科学観測用衛星の打ち上げと追跡・管制を行っています。「宇宙科学資料館」では、地元と連携して特別公開イベントを行い、地域の活性化にも寄与しています。

視察当日は、雨と霧により、ロケット発射台など外での視察は行えませんでした。



▲内之浦宇宙空間観測所の屋外展示

●彩の国功労賞の贈呈

平成30年2月定例県議会において議員提案により成立した条例が初めて適用され、県の表彰の贈呈案件が、議会に議案として提出されました。今回は、東京マラソン2018において男子マラソンの日本記録を16年ぶりに更新した設楽悠太(したら ゆうた)さんと、平昌2018パラリンピック冬季競技大会において、全5種目でメダルを獲得した村岡桃佳(むらおか ももか)さんの2人に、彩の国功労賞を贈呈することが決まりました。

上田知事のとことん訪問に同行(5月21日)

●くらしワンストップ MORO HAPPINESS 館(毛呂山町)

埼玉医科大学がJR毛呂駅前オープンした医療・健康支援施設であり、診療から医療・介護などの相談、健康づくりなどの機能を備え、地域包括ケアセンターとして全国のモデルになる施設です。



▲上田知事、井上町長と並んで説明を受ける武内県議

●(有)佐藤酒造(越生町)

「越生梅林」のブランド名を有する越生町唯一の酒蔵です。跡継ぎの女性杜氏まり子さんが、若い感覚を生かして新しい酒造りに挑戦中です。



▲杜氏のまり子さんが酒造りを説明

★八高線沿線の活性化★

●高崎市長訪問

高崎から水上まで走っているJRのSLを八高線に乗り入れることについて、高崎市長に協力を依頼しました。(4月26日)



▲SLの八高線乗り入れについて高崎市長(中央)に協力を依頼

●東武鉄道「SL大樹」及び日光市観光協会視察

東武鉄道が鬼怒川温泉駅から下今市まで運行しているSLプロジェクト及び日光市観光協会の沿線地域の活性化の取組を視察しました。(7月16日)



▲川越線・八高線沿線活性化議員連盟のメンバーと一緒に